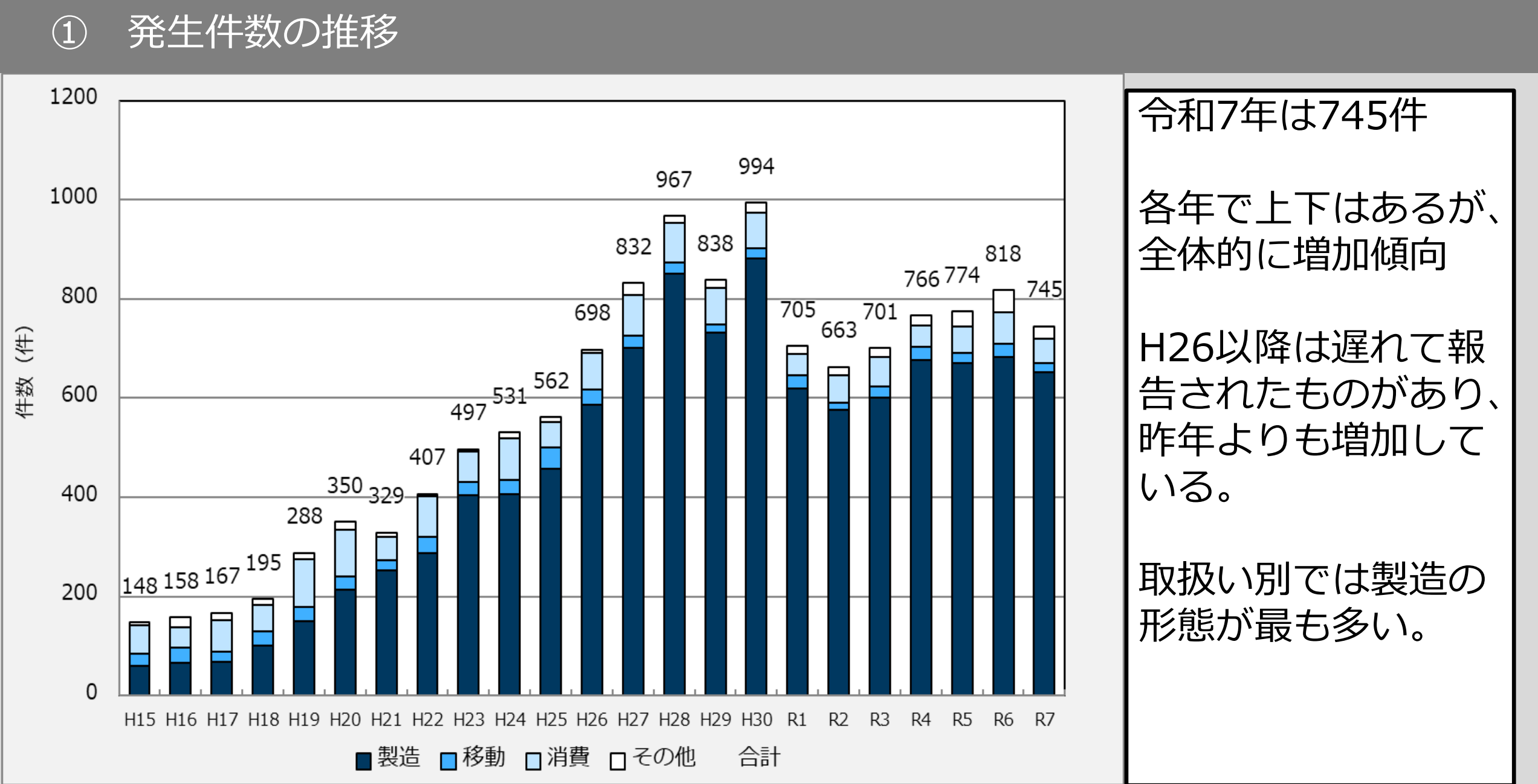


Ⅲ 高圧ガス保安法に係る最近の事故発生状況

- 1 全国の事故（災害）
- 2 新潟県内の事故（災害）
- 3 全国の事故（喪失・盗難）
- 4 新潟県内の事故（喪失・盗難）
- 5 その他



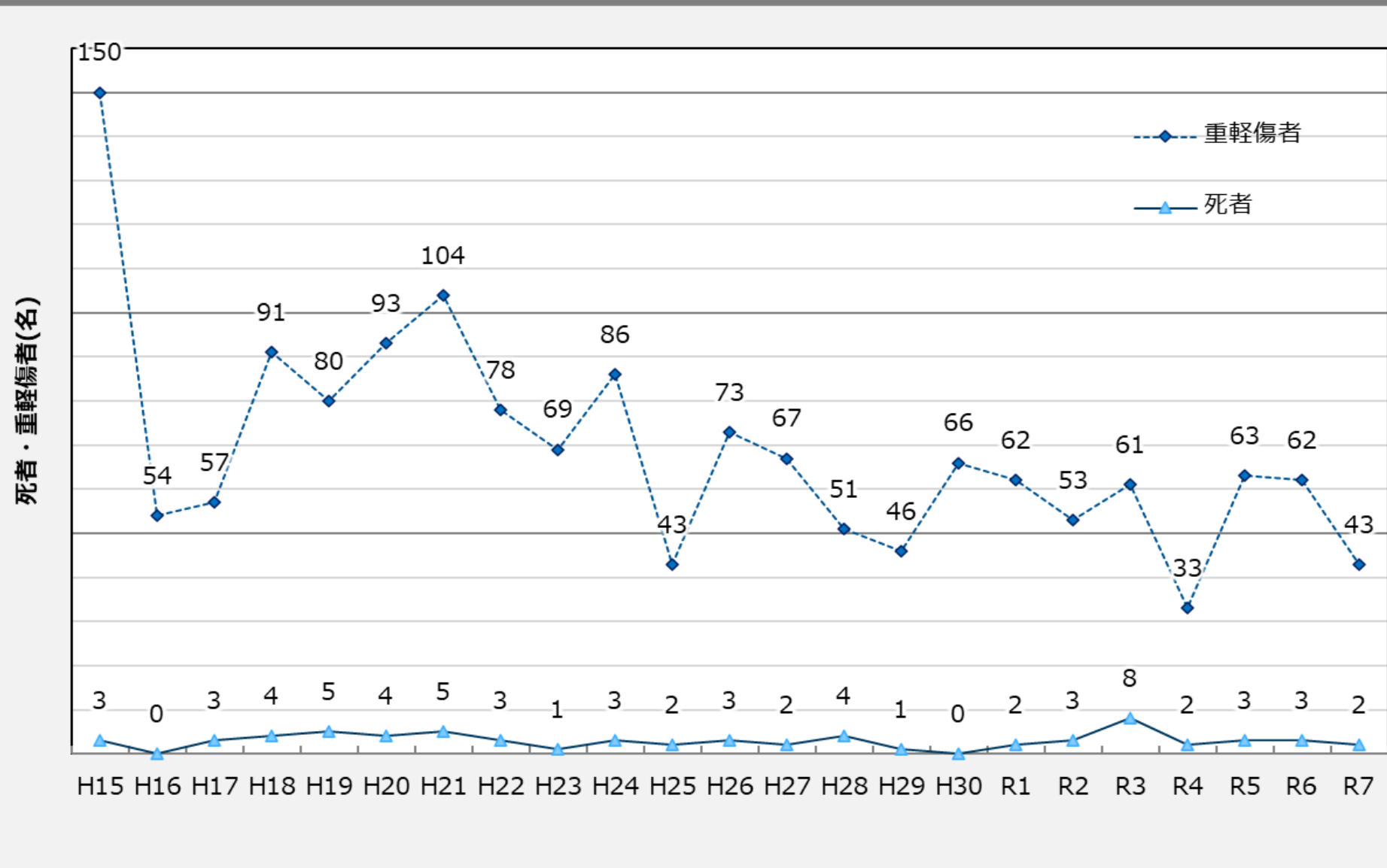
令和7年は745件

各年で上下はあるが、全体的に増加傾向

H26以降は遅れて報告されたものがあり、昨年よりも増加している。

取扱い別では製造の形態が最も多い。

② 死傷者数の推移



死者は令和7年は2名となり、前年から1名減少

令和7年の重軽傷者は43名

重軽傷者は令和6年より20名近く減少

① 重大事故の詳細

①埋設アセチレンガス容器爆発事故

- 日時：2025年5月27日
- 県名：東京都
- 事故区分：その他
- 事象：破裂・破損→爆発
- 事故原因：その他（調査中）
- 概要：一戸建住宅の建設現場において、杭打ち作業中に埋設されていたアセチレン容器を破損させたことにより、何らかの原因で爆発が発生した。（アセチレンガスは、分解爆発性ガス（自己分解性ガス）であるため、支燃性ガスや着火源がなくとも燃焼爆発に至ることがある。）
- 対応：新聞報道によると、軽傷者10名、事故現場周囲の住宅等約40棟に窓ガラスが割れるなどの被害が出た。
- 経済産業省では、①高圧ガスの適切な廃棄等、②高圧ガス容器の適切な管理について、2025年7月31日付けでHPIにて注意喚起を実施。

高圧ガス保安法
第25条 経済産業省令で定める高圧ガスの廃棄は、廃棄の場所、数量その他廃棄の方法について経済産業省令で定める技術上の基準に従ってしなければならない。

一般高圧ガス保安規則
第62条 法第25条の経済産業省令で定める技術上の基準は、次の各号に掲げるものとする。
一 廃棄は、容器とともに行わないこと。

② 死亡事故の詳細 1

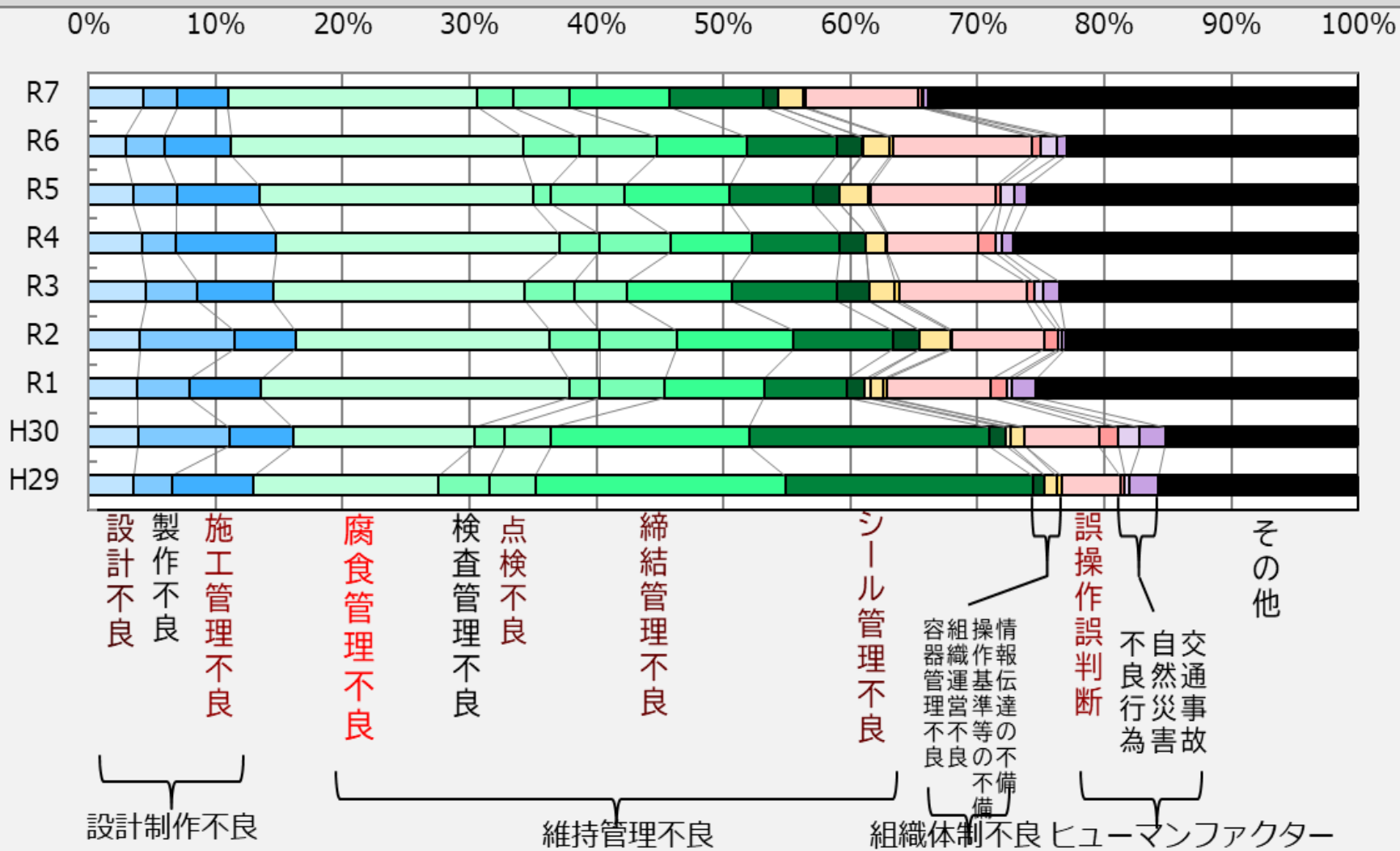
②ガス溶断中の爆発事故

- 日時：2025年6月30日
- 県名：広島県
- 事故区分：消費
- 事象：爆発
- 事故原因：その他（調査中）
- 概要：
工場から廃品処理の依頼を受けた会社の作業員が、工場のガス溶断機（LPガス、酸素）を使用して廃品の浮棧橋を溶断していたところ、何らかの要因により、爆発が発生した。爆発により、作業員 1 名が死亡した。
- 対応：
三原市から事業者に対し、浮棧橋の溶断作業は中止し、安全な方法で対処するよう指導。

出典：産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 高圧ガス小委員会（第31回）

1 全国の事故（災害）

⑥ 事故の原因分析について



KHK、高圧ガス関係事故集計（令和7年12月末現在。令和8年2月）のデータ等を基にグラフを作成

腐食管理不良がR1以降の主な原因となっている。

次いで、誤操作誤判断、締結管理不良となっている。

③ 死亡事故の詳細 2

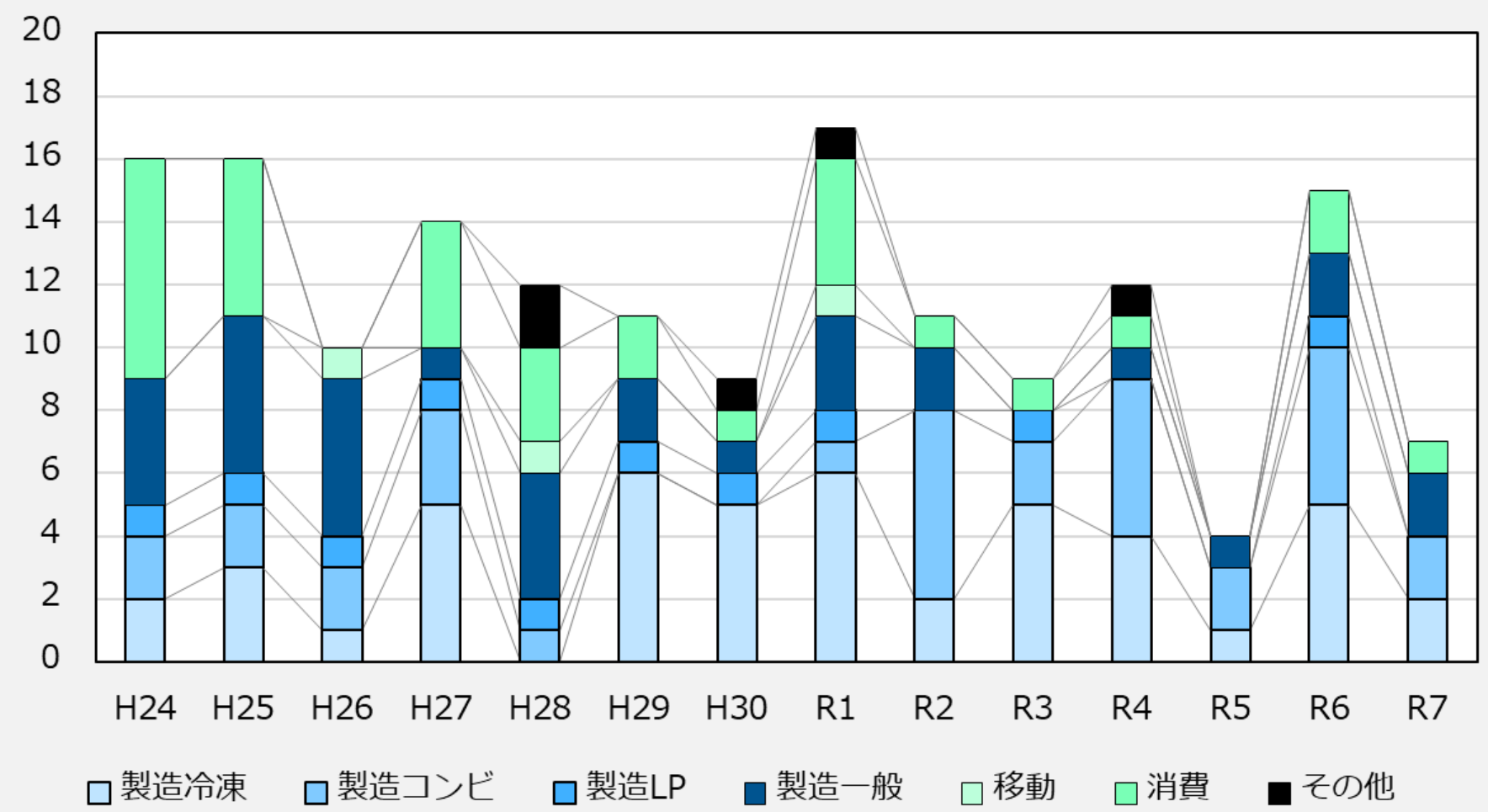
③三フッ化窒素製造設備爆発火災事故

- 日時：2025年8月7日
- 県名：群馬県
- 事故区分：製造事業所（一般）
- 事象：爆発→火災
- 事故原因：誤操作、誤判断、認知確認ミス
- 概要：
作業員が本来、操作する予定はなかった加圧槽の手動バルブを誤操作したことにより、配管で三フッ化窒素の急激な圧力変化、温度変化が発生。
それにより生じた摩擦熱がバルブを形成する樹脂シートに着火し、爆発が生じたと推定される。爆発火災により、作業員のうち1名が死亡、1名が負傷した。
- 対応：
群馬県から事業者に対し、適切な再発防止策を講じること等を指導するとともに、法令（技術基準）の遵守状況について調査・確認（法令違反は認められず）。

出典：産業構造審議会 保安・消費生活用製品安全分科会 高圧ガス小委員会（第31回）

7 2 新潟県内の事故（災害）

① 発生件数の推移

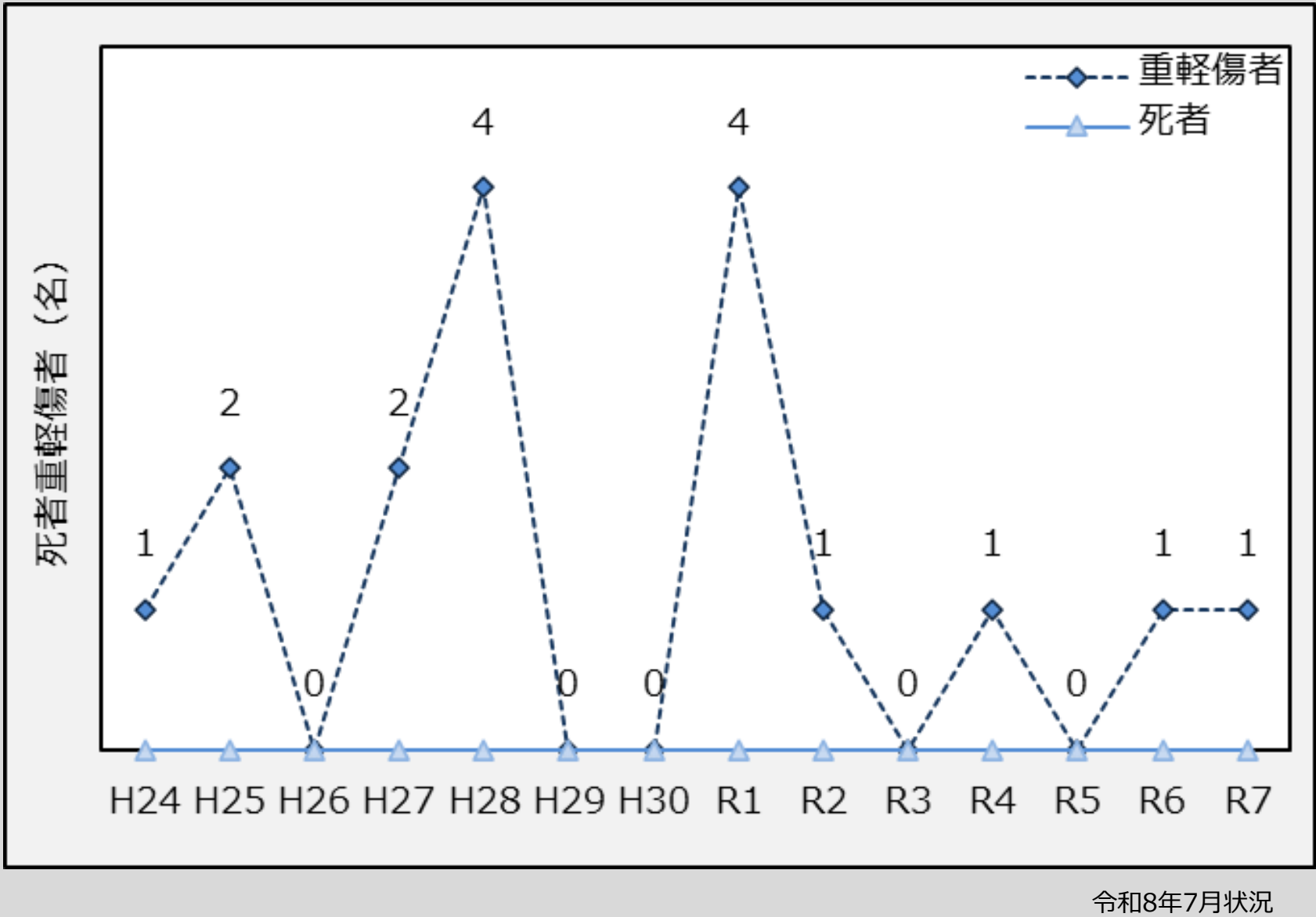


令和8年7月状況

令和7年の件数は7件で、近年では令和5年に次いで少ない。

全国と同様、取扱い形態は製造が多く、多くの割合を占めている。

② 死傷者数の推移



令和7年は軽傷者1名。
このグラフの期間で死者は無し。

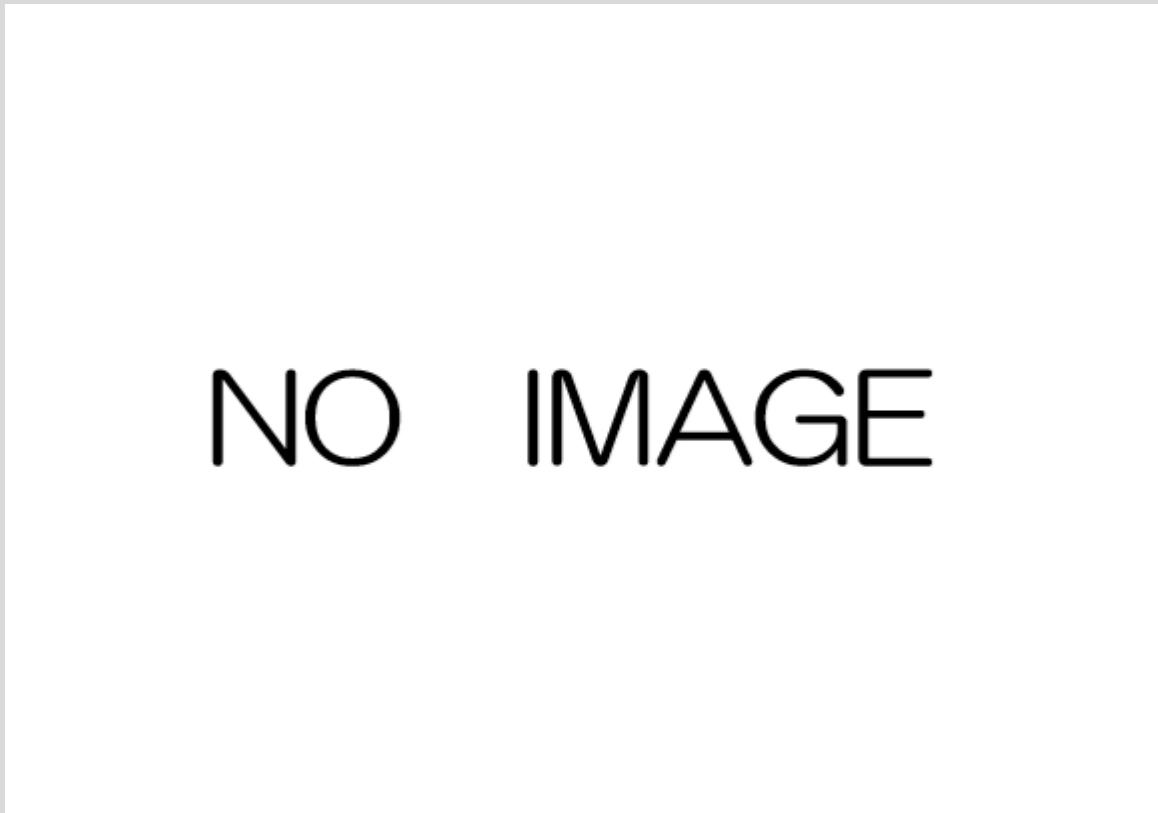
① 最近報告された事故事例 1



※写真は事故の発生したCEとは別のCEです

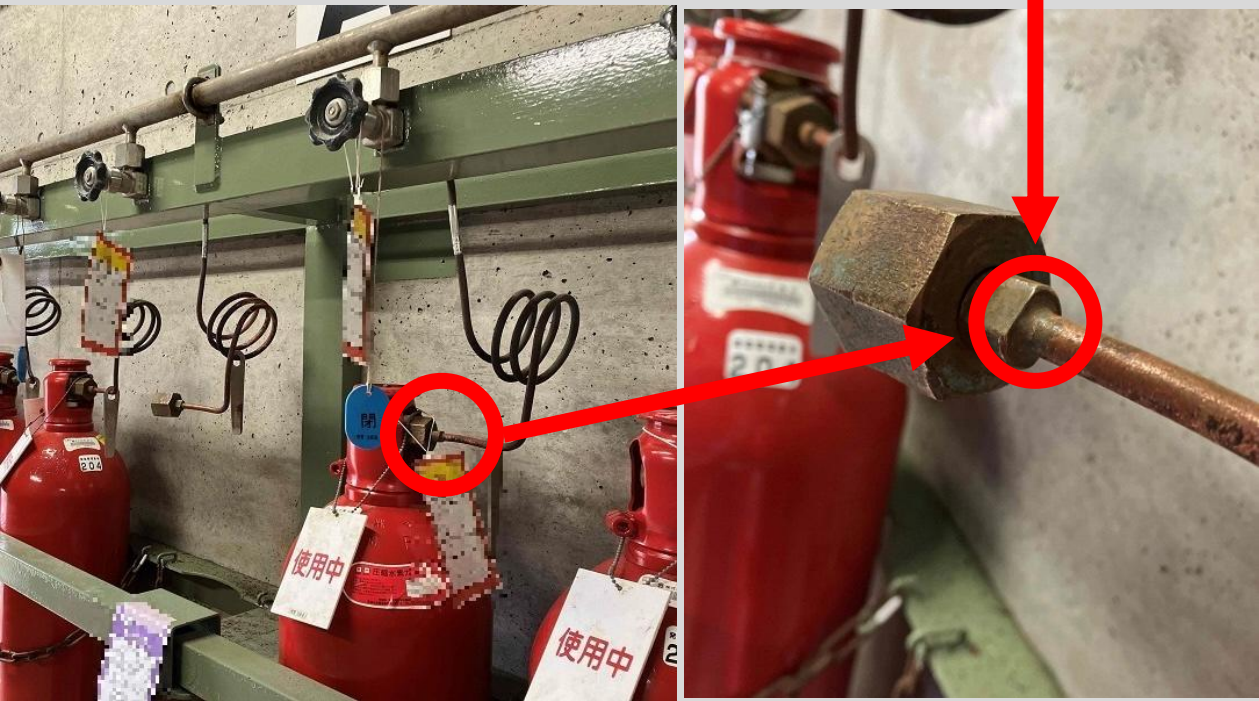
発生日	令和7年5月7日
ガスの種類	窒素
事象	噴出・漏洩
死傷者	なし
事故概要・原因	液化窒素のコールドエバポレーターにローリーから液化窒素の受け入れ作業をしていたところガス漏れ音がした。貯槽近傍の配管が経年劣化により腐食し、5mm程度のクラックが発生して窒素が漏えいした。
類似事例抜粋 KHK事故DB	2023-180 液化酸素ガス漏洩事故 2019-163 液化酸素コールドエバポレーター貯槽酸素ガス漏えい事故

② 最近報告された事故事例 2



発生日	令和7年11月13日
ガスの種類	アンモニア
事象	噴出・漏洩
死傷者	軽傷1名
事故概要・原因	液化アンモニアをタンクローリーに充填しようとしたところ、アンモニアガスの戻りラインの接続を行っていない状態でバルブ操作を行い、タンクローリーのガスラインから液化アンモニアが噴出し、作業員1名が受傷した。
類似事例抜粋 KHK事故DB	2025-527 液安ローリー充填作業における被液トラブル 2025-410 液化窒素ローリー充填時の液体窒素漏えい

③ 最近報告された事故事例 3



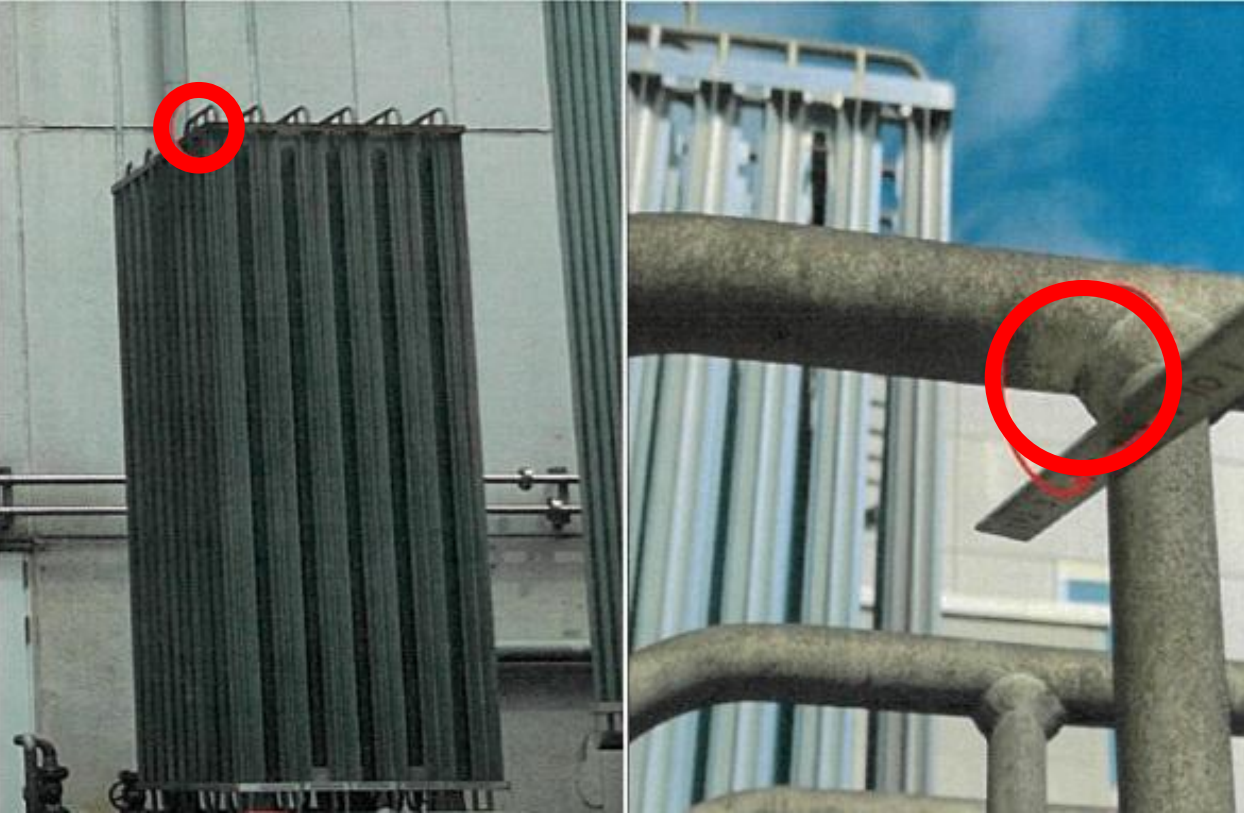
発生日	令和8年1月9日
ガスの種類	水素
事象	噴出・漏洩
死傷者	なし
事故概要・原因	水素消費施設の貯蔵設備において、水素容器の交換作業後、容器弁をゆっくり開操作したところでガス漏えい音がした。漏えいチェックを行ったところ、連結管の溶接部より微少漏えいを発見した。容器交換作業を繰り返し行うなかで接続管溶接部に応力がかかり、漏洩が発生したと考える。
類似事例抜粋 KHK事故DB	2022-488 水素ガス漏洩 2016-259 水素補給配管のエルボ部から水素漏えい

④ 最近報告された事故事例 4



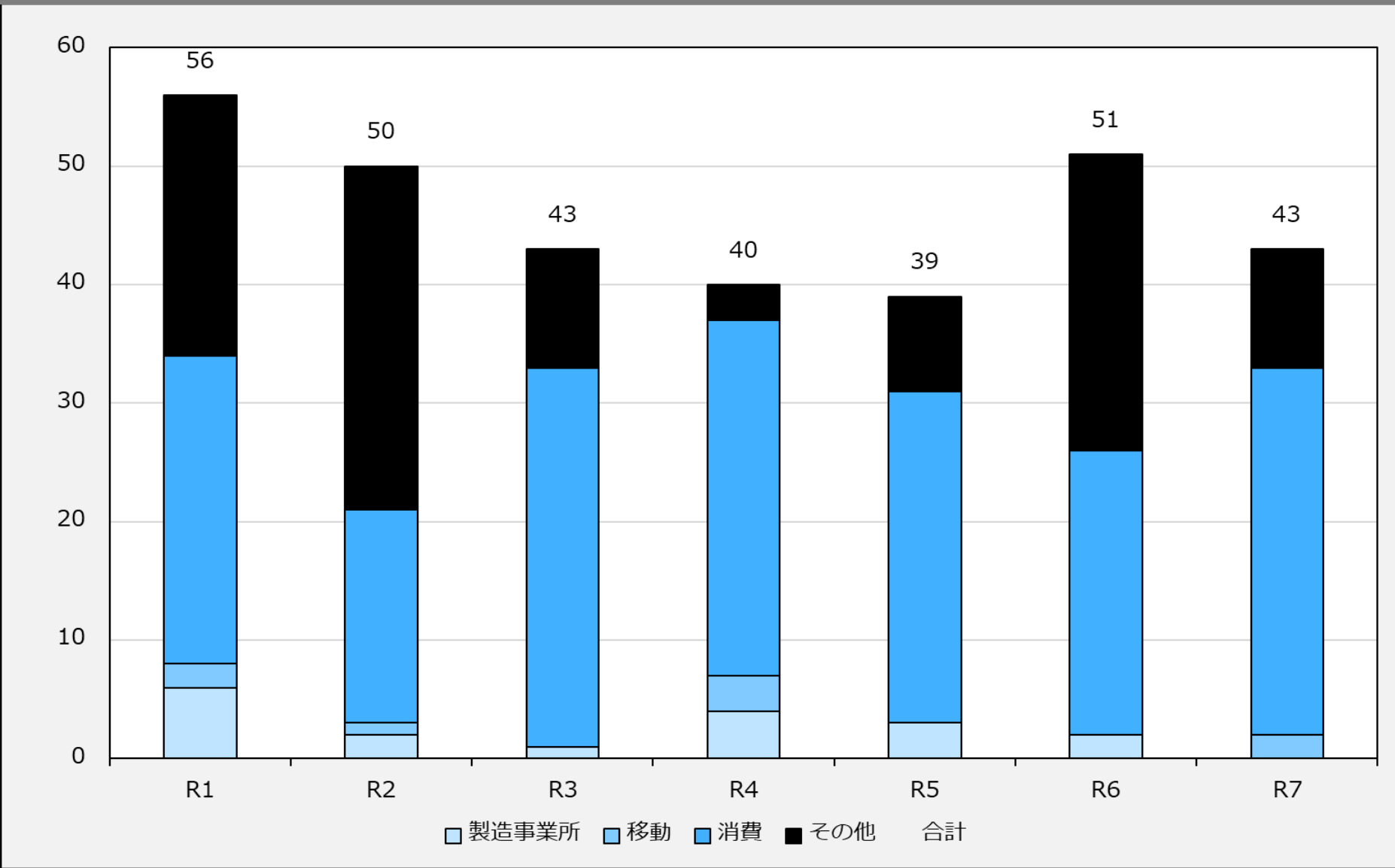
発生日	令和8年2月27日
ガスの種類	液化炭酸ガス
事象	破裂・破損、噴出・漏洩
死傷者	なし
事故概要・原因	液化炭酸ガスのローリー出荷設備にて液化炭酸ガスの充填作業を行っていたところ、充填ホースが破損して液化炭酸ガスが漏洩した。ホースの取り回しの際に曲げ半径が小さい状態で曲げたことによりホース内管樹脂が異常に変形し、繰返し使用することで内管樹脂の変形部に応力が集中して内管に亀裂が発生し、亀裂から漏れた液化炭酸ガスにより外被が膨らみ、ホースが破れたものと判断された。
類似事例抜粋 KHK事故DB	2025-384 高純度液安充填場における液安タンクローリからの漏えい事故

⑤ 最近報告された事故事例 5



発生日	令和8年4月16日、4月27日
ガスの種類	窒素
事象	噴出・漏洩
死傷者	なし
事故概要・原因	液化窒素コールドエバポレーターの定常運転中にガス漏れ音がした。確認したところ、送ガス蒸発器の溶接部から微量のガス漏れが確認されたためバルブを閉止してガス漏れを止めた。11日後、今度は隣に設置されている同型の送ガス蒸発器の同様の溶接部から窒素ガスが漏洩した。どちらの送ガス蒸発器も設置から38年が経過しており、経年劣化により設備の老朽化が進んでいたものと考えられる。
類似事例抜粋 KHK事故DB	2025-589 窒素タンク付属設備の蒸発器溶接部からのガス漏えい 2025-405 アルゴンガス漏えい事故

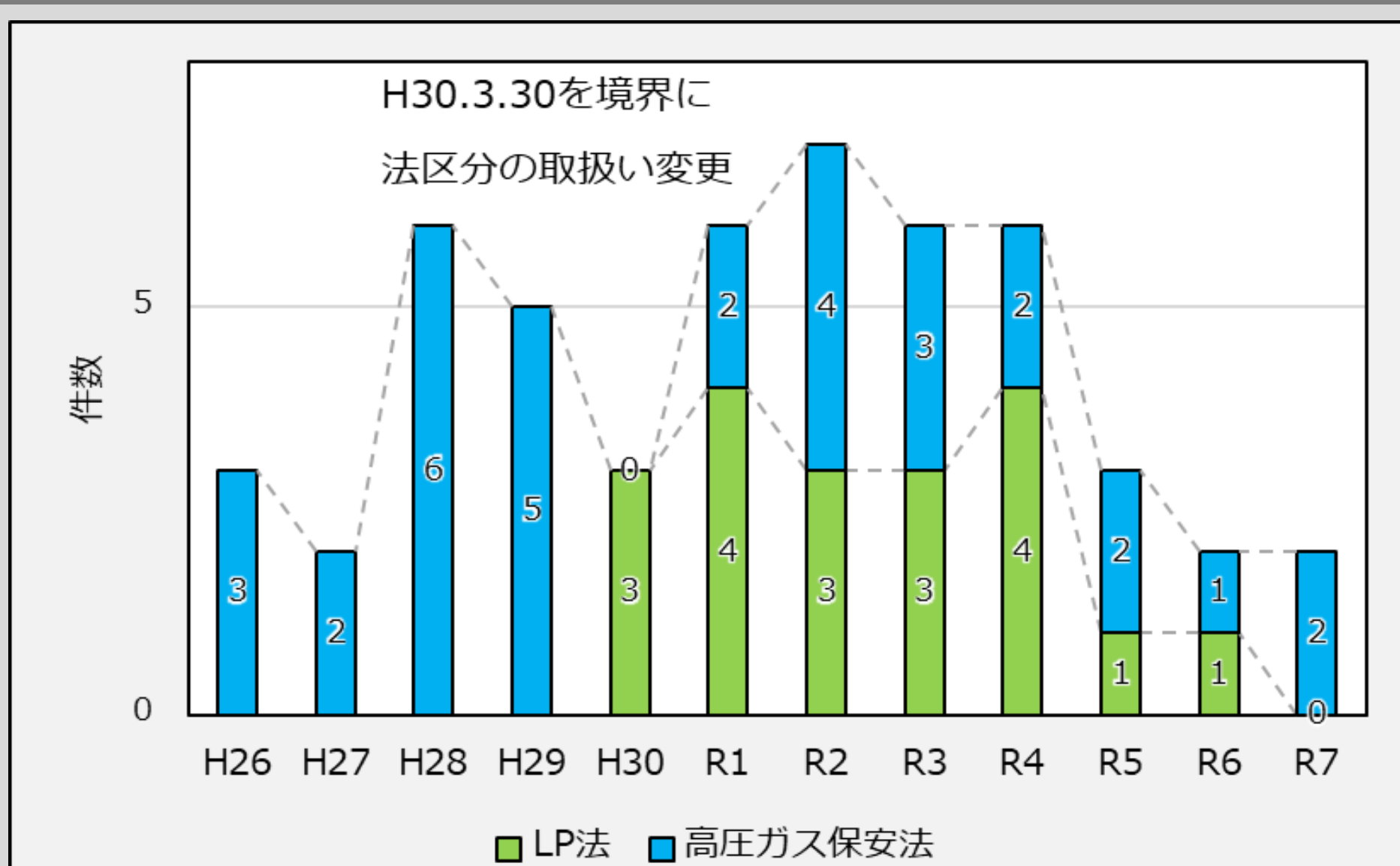
全国の喪失・盗難事故



LP法の事故が集計対象外になったR1以降を集計減少傾向だったが、R6は増加、R7は再び減少

主には消費の形態で起きている

県内の喪失・盗難事故



令和7年は2件で前年と同数

※全国を集計法と異なり、LP法関係事故も継続して計上

新潟県 (下を除く)	新潟県庁防災局消防課高圧ガス保安係
	025-282-1666（平日日中） 025-285-5511（休日・夜間）
新潟市	新潟市消防局規制指導課保安係
	025-288-3241（平日日中） 025-288-3270（休日・夜間）
三条市	三条市消防本部警防課予防・指導係
	0256-34-1161（平日日中） 0256-34-1111（休日・夜間）
柏崎市	柏崎市消防本部予防課危険物保安係
	0257-24-1501（平日日中） 0257-24-1500（休日・夜間）
魚沼市 (LP法のみ)	魚沼市消防本部予防課危険物係
	025-792-7168（平日日中） 025-793-0119（休日・夜間）
燕市・弥彦村	燕・弥彦総合事務組合消防本部予防課保安係
	0256-92-1122（平日日中） 0256-92-1119（休日・夜間）

新潟市、三条市、柏崎市、燕市及び弥彦村内の事故は、各自治体の消防局・消防本部に連絡。

魚沼市内の液化石油ガス法に係る事故は、魚沼市消防本部に連絡。

